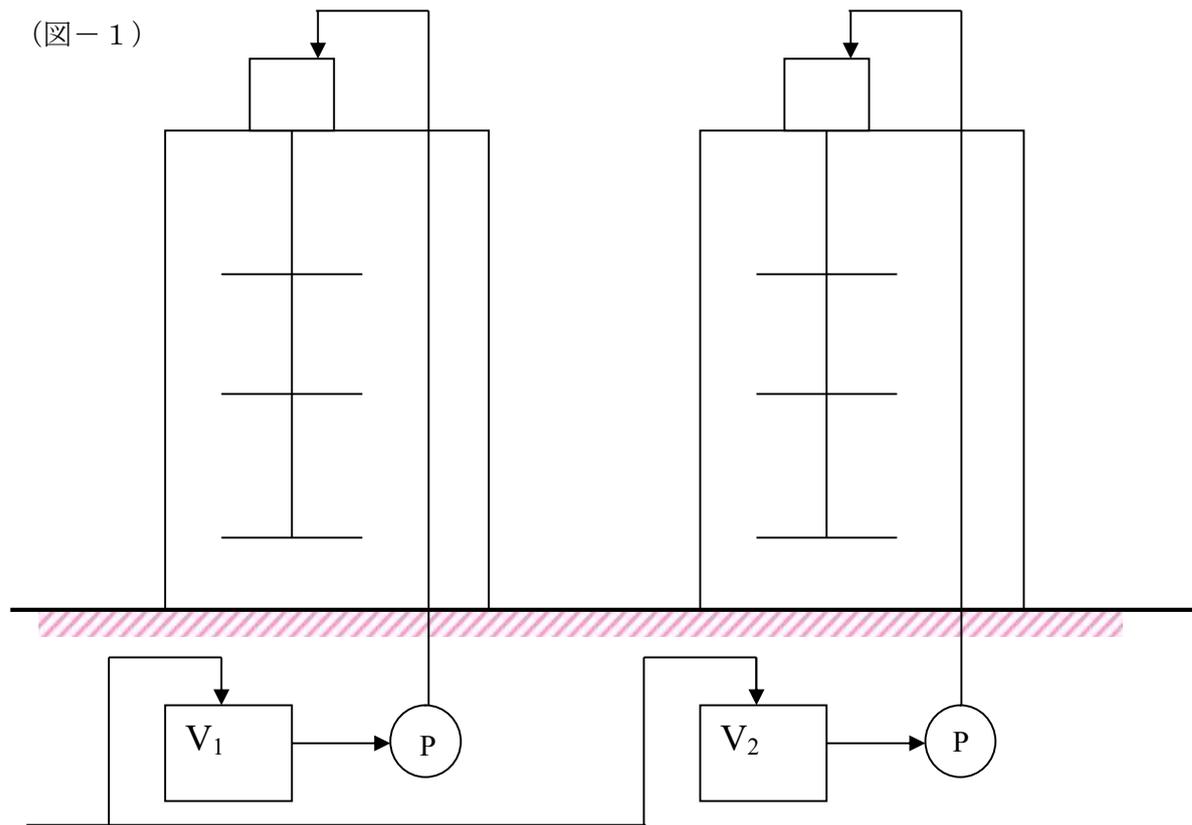


## 別紙 1

### 有効容量の算定方法

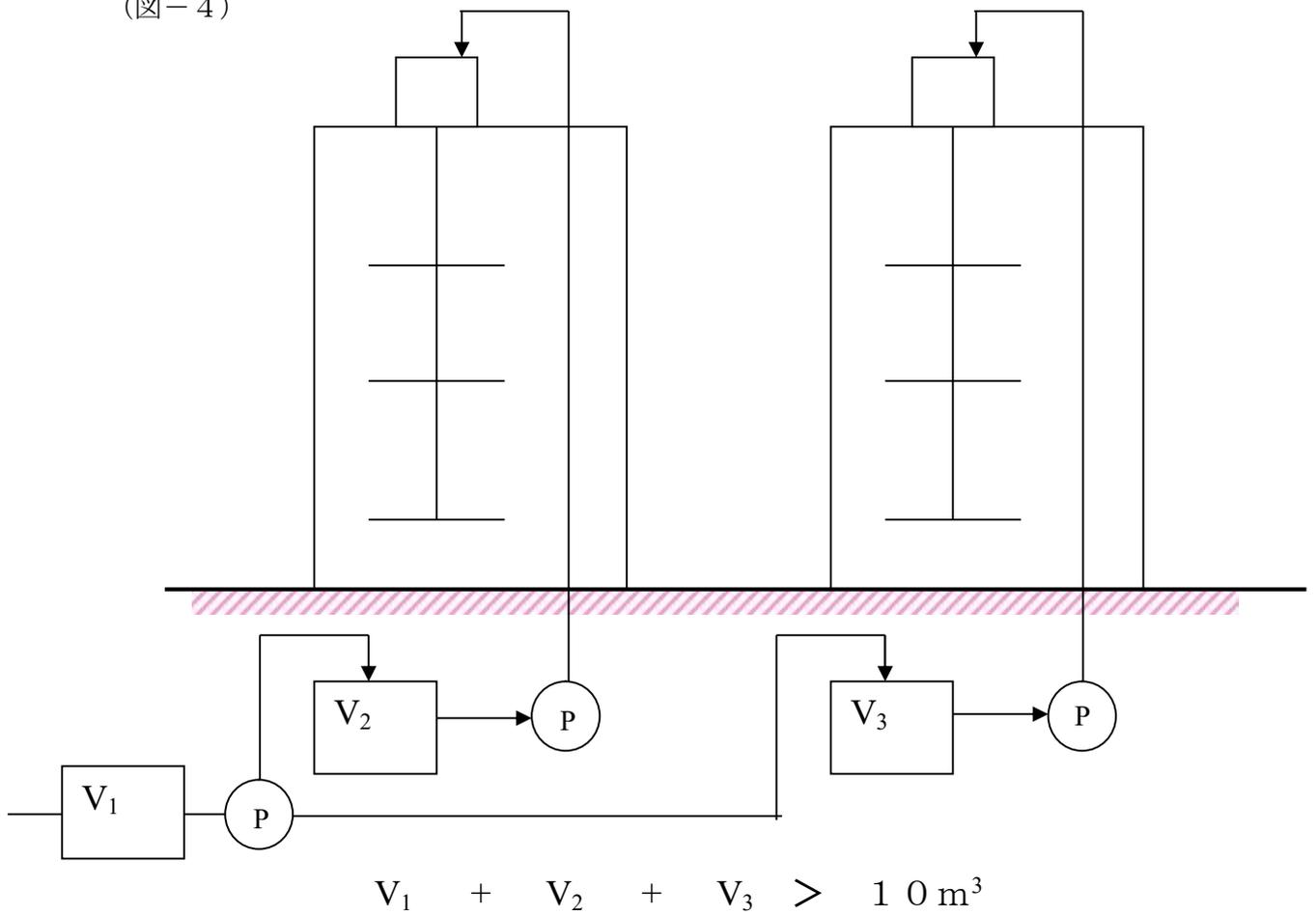
- 1 最高水位及び最低水位は、設計図等に記載されたものを確認し、次により定める。
  - (1) 最高水位は、オーバーフロー管の越流水位とし、オーバーフロー管がない場合、並びにオーバーフロー管が設置されていても、ボールタップ等により水位を調整している場合はボールタップ等の定水位装置によって決定される水位とする。
  - (2) 最低水位は流出管または揚水管の開口部が水平に設置されている場合は、吸込み部の上端から管径の 1.5 倍上部の水位とする。
  - (3) 最高水位及び最低水位が確認できないものにあつては水槽の掃除等の際に明確にし、有効容量を決定するようにすること。
- 2 2以上の水槽を有する場合等の有効容量は次により算定すること。
  - (1) それぞれの受水槽に係る給水系統が相互に連結されていない場合（図－1）



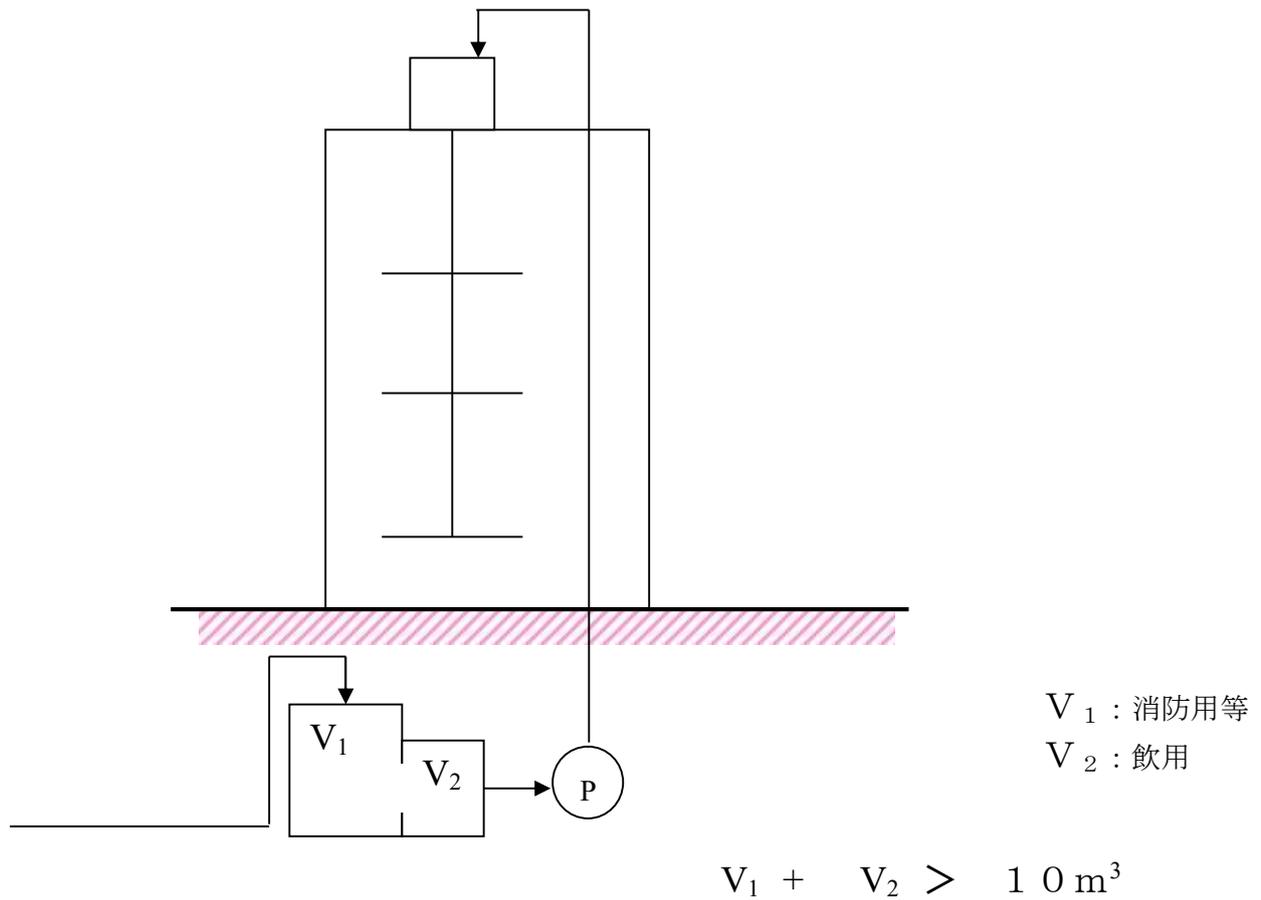
$$V_1 > 10 \text{ m}^3 \quad , \quad V_2 > 10 \text{ m}^3$$



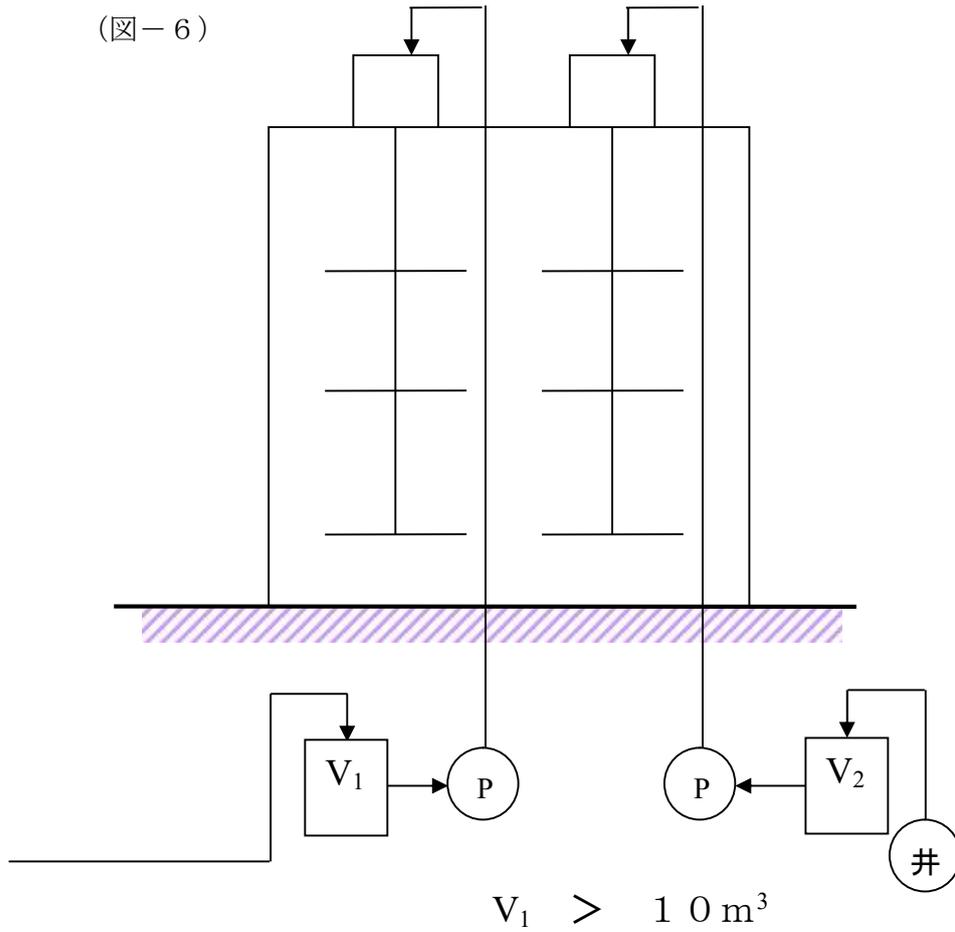
(図-4)



- (4) 消防用等飲用以外の目的に設置された水槽と飲用に供する水槽が連結されている場合  
(図-5)



(5) 井戸用と共用している場合 (図-6)



(6) 供給する建築物が高所にある場合 (図-7)  
(図-7)

